

## 心理学科

### 入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

心理学科では、心の働きの普遍性について客観的・科学的な理解を深めていく姿勢と、一人ひとりの生き方の個別性を尊重する協働的な姿勢を兼ね備え、変わりゆく社会の中でのあり方をたえず探求し続ける人間の育成を目的とする。

本学科が求める学生像は、以下のとおりである。

#### 【求める学生像】

- ・人間の心の働きの仕組みや成り立ちを、科学的に理解することに興味のある人。
- ・調査や実験などの科学的な研究法を身につけ、心の働きを主体的に探求したい人。
- ・生物学的、社会・文化的な視点から、人間の心の働きを学問融合的に捉えていくことに関心のある人。
- ・自分とは異なる考えも傾聴し、より広く深い人間理解を求める人。
- ・実証的なデータや文献を読み解き、自身の考察を論理的に表現する意欲のある人

#### 【高等学校段階までに修得すべき学力】

- ・高等学校段階までの十分な基礎学力
- ・英語の読解力
- ・論理的に物事を考える基礎的な思考力と、自分の考えをまとめ他者に正しく伝える基礎的な表現力
- ・他者とコミュニケーションを取り、協働して物事に取り組む力

上記の学力を身につけているかを判定する入学者選抜試験を以下の基本方針で行う。

#### (1) 一般選抜

一般選抜では、各入試区分で課している科目における基礎的な知識を身につけているかを、思考力および表現力も加味しながら判定する。

#### ・一般選抜（個別選抜型）

筆記試験により、国語、外国語（英語）、地理歴史または数学における基礎的な知識を身につけているかを、思考力および表現力も加味しながら判定する。

- ・一般選抜（英語外部試験利用型）

英語外部試験を利用して英語の4技能をバランスよく十分に修得しているかを判定する。さらに、筆記試験により、国語、地理歴史または数学の基礎的な知識を身につけているかを、思考力および表現力を加味しながら判定する。

- ・一般選抜（大学入学共通テスト利用型前期）

大学入学共通テストの外国語（英語）および、国語・地理歴史・公民・数学・理科のうち2科目の計3科目の試験によって、それぞれの科目における基礎的な知識、思考力および表現力を身につけているかを判定する

- ・一般選抜（大学入学共通テスト利用型後期）

大学入学共通テスト利用型前期と同じ方針で判定する。

## (2) 総合型選抜

総合型選抜の第一次選考では、調査書を用いて高等学校等における取り組み状況を調査し、高校までに身につけるべき基礎的な知識と技能、主体性および協働性を総合的に判定する。また、全学科共通課題を通して主体性、論理的思考力および表現力を判定する。第二次選考では、口述試験にてコミュニケーション力や他者と議論する力などを審査する。以上の調査と試験を通して総合的に判定する。

## (3) 学校推薦型選抜

高等学校等学校長によって推薦された人は、高校までに身につけるべき基礎的な学力を有していると判断する。さらに、出願書類と面接試験（口述試験）によって、学修や研究への意欲、自分の考えを表現する力、コミュニケーション力および協働性を総合的に判定する。

- ・学校推薦型選抜（附属高等学校推薦）

日本女子大学附属高等学校長が推薦する人を対象に、出願書類と面接試験によって総合的に判定する。

- ・学校推薦型選抜（指定校制）

本学科が指定する高等学校（指定校）の学校長が推薦する人を対象に、出願書類と口述試験によって総合的に判定する。

#### (4) 外国人留学生

日本留学試験の日本語、総合科目の2科目の試験によって、十分な基礎学力を有しているかを判定する。出願書類および口述試験によって、学修意欲、主体性、日本語能力、コミュニケーション能力、他者と議論する力、および英語に関する基礎的な知識を有しているかを審査し総合的に判定する。

#### (5) 編入学・学士入学

大学・短期大学・高等専門学校を卒業した人（見込みを含む）や他大学在学中の人を対象に、心理学に関する小論文（編入学希望者）または文章理解試験（学士入学希望者）を行い、大学2年次もしくは3年次に相当する専門的な知識を有しているかを審査する。出願書類および口述試験によって、学修意欲、主体性、コミュニケーション能力、他者と議論する力、および英語に関する十分な知識を有しているかを審査し総合的に判定する。

#### (6) 社会人

出願資格を満たす社会的に豊かな経験を持つ者を対象に、出願書類、小論文および口述試験によって、学修意欲、主体性、コミュニケーション能力、他者と議論する力、および英語に関する十分な知識を有しているかを審査し総合的に判定する。